

## 熊本の大自然が育んだ豊かな人間力

青少年育成町民会議主催の宿泊体験「夏季少年のバス」が8月18日から3日間行われ、町内の小4から中3までの児童生徒28人が参加しました。熊本県山鹿市を訪れ、川での沢登りや屋外でのキャンプファイアーなどで大自然を体験。子どもたちは、3日間の団体生活をとおして社会性や協調性を学びました。



↑参加者の年齢差はあったものの、最終日には打ち解けている様子でした。

↓会場を一つにした、総勢21人で初参加の「方城ダンスフィットネスクラブ」。



## 伝統の祭事に上弁城が沸く一夜

400年以上続く地区の伝統行事「上弁城六夜待」が8月17日に上弁城集会所で行われました。25組70人のうち約半数が地区外から駆けつけるなど年々人の輪が広がり、歌や舞踊・演奏など多彩な全24演目を披露。参加者には分け隔てなく拍手が贈られ、笑顔と歓声に包まれたステージは日付が変わる直前まで続きました。

## 福智の魅力も新発見された夏の体験合宿

田川青年会議所は、田川の歴史や文化を学びその魅力をPRできる人材を育成する合宿を8月10日から2日間、ふれあい塾を中心に開催しました。参加者は上野焼作陶体験で地元の魅力を体感。福智町から参加した今川くるみさん(赤池中)は、「この合宿で学んだことを多くの人にPRしたい」と笑顔で抱負を語りました。



↑ふれあい塾でバーベキューや手持ち花火を楽しみ絆を深めた参加者25人。

↓「ことごと列車内」で、平筑の河合社長に運行状況や現在の課題など積極的に質問する学生たち。



## 列 福岡女学院が「ことごと列車」を視察 車がつなぐ民・学・官の連携

福岡女学院大学が9月9日に福智町を視察に訪れました。両者と包括連携協定を結ぶJALの参画で、平成筑豊鉄道「ことごと列車」の平日活用を考える授業の一環として来訪。学生4人が車両見学や金田商店街での実地調査を行い、町の魅力や課題、住民の声を肌で感じました。今後も町と学生・平筑・JALの4者でアイデアを出し合い、運営にいかしていく予定です。

↓祭りの様子はNHKの「ロクいち福岡」で放映され大きな反響を呼びました。



## 方城山神夏夜祭 方城大非常の歴史を今に伝える夏祭り

約百年前に町内で発生した炭鉱事故「方城大非常」の犠牲者をしのぶ夏祭りが8月24日に旧方城町民プール跡地で行われました。この祭りは、伊方出身の大石雄介さんが「この歴史を風化させてはいけない」と始めて今年で3年目。最後は来場者全員で「方城非常唄」の総踊りを行い、犠牲者のめい福を祈りました。

## 最 第4回 福智町消防操法大会 多15分団が鍛えた消防技術で競演

福智町消防団による消防操法大会が、9月8日に彦山川・中元寺川合流点で行われました。県大会の予選を兼ねた大会に、初参加の本部分団を含む町内全15分団が出場。4人1組で小型ポンプを操り消火までのスピードと動作の正確性を競い、約3か月の練習の成果を発揮した第1分団(金田)が見事優勝を飾りました。



↑自己ベストの44秒を記録し、選手4人全員が個人賞にも選ばれた第1分団。

↓観客からのねぎらいの言葉を受けながらの、出演者総出のもち投げで終幕。



## 地 春田六夜様祭 地域の絆と伝統守る「素人演芸会」

春田地区の恒例行事「六夜様祭」が8月31日に春田公民館で行われました。素人演芸会と題し、飛び入り参加も含め幅広い年齢層の23組が出演。ステージ上に声援とおひねりが飛び交いました。練習の成果を発表する場として、また地域の交流を温める場として、愛され続ける祭りは、多くの笑顔に包まれ幕を閉じました。